

平成27年度

行政経営報告書

伊 賀 市

平成27年度 伊賀市行政経営報告書

目次

	頁
行政経営報告書の作成にあたって	2
まちづくりアンケート結果概要	3
1. まちづくりアンケートとは	3
2. 調査の仕様	3
3. 前回調査結果との比較	3
4. 各政策の満足度、必要度の一覧	4
再生計画の進捗状況	9
重点プロジェクト	16
分野別計画・計画の推進一覧	18
施策評価シートの見方	21
分野別計画	23
計画の推進	205

行政経営報告書の作成にあたって

第2次伊賀市総合計画(2014(平成26)年7月発行)は、めざす市のすがたやまちづくりの基本理念、それらを実現するために必要なまちづくりの「政策」を示す「基本構想」と、基本構想に掲げる将来像を達成するため、まちづくりの政策に基づく根幹的な「施策」や事業を示す「再生計画」で構成しています。

第2次伊賀市総合計画(基本構想)で描いた将来像を実現していくため、ここに平成27年度における施策への取組の方向性を示した「平成27年度伊賀市行政経営報告書」を公表します。

この「平成27年度伊賀市行政経営報告書」は、第2次伊賀市総合計画(再生計画)の進捗状況や、平成26年度の市政運営の評価をもとに、成果や課題を捉え、事務事業の取捨選択や改善に取り組み、平成27年度予算に反映させたのかを市民の皆さんに分かりやすく公表することを目的に作成しています。

28本の「政策」については外部評価(まちづくりアンケート)を、107本の「施策」については内部評価(施策評価)を行い、これらの評価の結果だけでなく、外部環境要因(時代の潮流、市民の声)や財政状況などから、平成27年度の施策の目標達成に向けた取組みを定めました。参考にまちづくりアンケート結果概要と再生計画の進捗状況を掲載します。

そして、第2次伊賀市総合計画の基本構想に掲げた将来像である「ひとが輝く地域が輝く」伊賀市の実現に向け、「重点プロジェクト」、「分野別計画」、「計画の推進」に分けて平成27年度の取組みを掲載します。

まちづくりアンケート結果概要

1. まちづくりアンケートとは

「ひとが輝く 地域が輝く 伊賀市」を実現するために、市民のみなさまが普段の生活で感じられていること、お気づきになられていることをお聞かせいただき、今後の伊賀市のまちづくりの参考とするものです。

また、平成26年3月に策定しました第2次伊賀市総合計画の各政策にかかる、市民の皆さまの「現状での満足度」、また「今後の重要性」を把握することで、客観性が確保された現状分析や方向性の検討を可能とするものです。

2. 調査の仕様

(1) 調査地域	伊賀市全域
(2) 調査対象	伊賀市在住の18歳以上80歳未満の市民2,222人
(3) 抽出方法	住民登録及び外国人登録されている方から無作為抽出
(4) 調査方法	無記名式質問紙調査
(5) 調査期間	平成27年3月～平成27年4月
(6) 有効回答数	1,002人(有効回答率 45.1%)

3. 前回調査結果との比較

前回調査より満足度(そう思う、ややそう思う)の割合が高くなったのは28政策のうち11政策で、増加幅が大きいものに、

「市民の期待に応えられる人・組織づくり(+2.3ポイント)」

「文化の違いを尊重し、多文化が共生するまちづくり(+1.4ポイント)」

「環境に配慮した生活環境が整うまちづくり(+1.2ポイント)」

などとなっています。また、低くなった17政策は

「子どもを安心して産み、育てられるまちづくり(-3.1ポイント)」

「自然を守り、自然と調和したまちづくり(-2.5ポイント)」

「将来を支える子どもたちが充実した教育を受けられるまちづくり(-2.0ポイント)」

などとなっています。

また、必要度(重要、やや重要と思う)の割合が高くなったのは28政策のうち14政策で、増加幅が大きいものに、

「市内外の交通インフラ整備により、人・モノ・情報の流れが活発なまちづくり(+2.4ポイント)」

「子どもを安心して産み、育てられるまちづくり(+2.0ポイント)」

「子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり(+1.8ポイント)」

などとなっています。また、低くなった14政策は

「地域性を活かしたモノづくりと新たなサービス創出が活発なまちづくり(-5.8ポイント)」

「多様な主体が地域課題を解決するため起業できるまちづくり(-4.4ポイント)」

「自然を守り、自然と調和したまちづくり(-4.0ポイント)」

などとなっています。

必要度が高くなっているのに、満足度が下がっている

「子どもを安心して産み、育てられるまちづくり」

については、取り組みを強化するなどの対応が求められています。また、必要度も満足度も下がっている

「自然を守り、自然と調和したまちづくり」

については、政策(施策)のあり方や内容について検討が必要です。

必要度の順位を下げている

「地域性を活かしたモノづくりと新たなサービス創出が活発なまちづくり(-6位)」

については、目的が達成されていたり、サービスが過剰供給になっていないか検証が必要です。

また、満足度の順位を下げている

「情報共有と市民参加(-4位)」

については、取り組みを強化するなどの対応が求められています。

4. 各政策の満足度、必要度の一覧

分野	政策	施策	26年7月				27年4月			
			満足度		必要度		満足度		必要度	
			そう思う、ややそう思う比率(%)	順位(位)	重要、やや重要と思う比率(%)	順位(位)	そう思う、ややそう思う比率(%)	順位(位)	重要、やや重要と思う比率(%)	順位(位)
1 健康・福祉	11 健康寿命が長く、安心な医療が受けられるまちづくり	1101 市民主体の健康づくり活動を支援する体制づくり	21.5	13	84.5	1	21.6	12	84.3	4
		1102 市民一人ひとりが健康で健やかに暮らせる環境づくり								
		1103 疾病の早期発見・早期治療につなげる体制づくり								
		1104 歯の健康づくりを推進するための体制づくり								
		1105 感染症に関する情報提供と体制づくり								
		1106 地域医療の充実								
		1107 福祉医療費助成制度の充実								
	12 子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	1201 官民協働による、新たな福祉の総合相談支援を行う体制づくり	17.0	15	80.9	6	16.2	16	82.7	5
		1202 児童虐待、障がい者虐待及びDV被害等による関係機関との支援体制づくり								
		1203 乳幼児期から学齢期、青年期まで途切れのない支援を行う体制づくり								
		1204 医療・介護サービスが一体的に提供できる体制づくり								
		1205 だれもが自分らしく暮らせるまちづくり								
		1206 地域における、見守り、支えあう体制づくり								
13 子どもを安心して産み、育てられるまちづくり	1301 地域における子育て支援事業の充実	28.2	5	83.4	4	25.1	8	85.4	2	
	1302 ひとり親家庭の自立支援の推進									
	1303 乳幼児期から生育・食育を含めた知識の普及と途切れのない子育て支援の体制づくり									

分野	政策	施策	26年7月				27年4月			
			満足度		必要度		満足度		必要度	
			そう思う、ややそう思う比率(%)	順位(位)	重要、やや重要と思う比率(%)	順位(位)	そう思う、ややそう思う比率(%)	順位(位)	重要、やや重要と思う比率(%)	順位(位)
2 生活・環境	21 自然災害や重大な事故などさまざまな事象に備え、安心して暮らせるまちづくり	2101 さまざまな災害を想定した体制づくり	26.7	7	84.4	2	26.9	6	84.9	3
		2102 災害時に援護や配慮が必要な人たちを支援する体制づくり								
		2103 災害時における情報収集、伝達機能を確保する施設整備の推進								
		2104 消防体制の強化推進								
		2105 救急・救助体制の強化								
		2106 非常備消防体制の充実強化								
		2107 交通事故ゼロをめざした取り組みの推進								
		2108 消費者被害防止のための啓発等の充実								
		2109 河川環境の保全・整備								
	22 自然を守り、自然と調和したまちづくり	2201 環境保全意識の高揚・啓発	45.0	1	73.1	8	42.5	1	69.1	11
2202 地球温暖化防止に向けた取り組みの推進										
2203 不法投棄をさせない、されない体制づくり										
23 環境に配慮した生活環境が整うまちづくり	2301 効率的な収集ができる体制づくり	27.6	6	72.2	9	28.8	5	70.2	10	
	2302 ごみ減量及び資源のリサイクルを推進する体制づくり									
	2303 ごみ処理施設のあり方を検討する体制づくり									
	2304 水道水源の安定確保									
	2305 水道施設の充実と健全運営									
	2306 生活排水処理施設整備の推進と適正な維持管理									
	2307 下水道事業の健全経営									
	2308 排水路の改修、整備									
	2309 し尿処理施設の整備									
3 産業・交流	31 地域資源とおもてなしの心を活かした観光のまちづくり	3101 観光・物産情報の発信と、市民ぐるみの誘客とPR	24.4	10	58.6	23	23.6	9	57.5	22
		3102 市内全域の魅力アップと「おもてなし」のしくみづくり								
	32 人と人とがつながる元気な農林業のまちづくり	3201 持続可能な農業の推進	9.9	25	51.2	28	8.2	25	50.8	27
3202 森林の整備と住民の取り組み										
33 中心市街地と各地域が連携した賑わいあるまちづくり	3301 中心市街地の魅力を発掘し、市内外へ発信する体制づくり	7.3	27	59.7	20	7.0	27	58.4	21	
	3302 商業・文化の交流拠点となる中心市街地の再生									
	3303 個店の機能強化と商店街機能の充実									

分野	政策	施策	26年7月				27年4月				
			満足度		必要度		満足度		必要度		
			そう思う、ややそう思う比率(%)	順位(位)	重要、やや重要と思う比率(%)	順位(位)	そう思う、ややそう思う比率(%)	順位(位)	重要、やや重要と思う比率(%)	順位(位)	
3 産業・交流	34 地域性を活かしたモノづくりと新たなサービス創出が活発なまちづくり	3401 地域産業の高付加価値化	9.9	23	60.6	19	9.1	23	54.8	25	
		3501 働く人の意欲に応える多様な就業・雇用の促進	8.8	26	82.5	5	7.8	26	81.1	6	
	3502 若年無業者の職業的自立への支援										
	3503 若者の地元雇用に向けた就業支援										
	36 多様な主体が地域課題を解決するため起業できるまちづくり	3601 コミュニティビジネスなどの起業の普及啓発と支援	4.9	28	52.6	26	5.2	28	48.2	28	
		3602 コミュニティビジネスの中間支援									
		3603 市民公益活動団体等の基盤強化支援									
	4 生活基盤	41 歴史文化や風土と調和した、秩序のあるまちづくり	4101 効率的で持続可能な都市構成をめざした制度づくり	41.3	2	61.5	18	42.1	2	61.3	17
			4102 快適で潤いある都市空間の形成と安全・安心の公園整備								
4103 伊賀市らしい魅力ある景観を守り、活かす体制づくり											
4104 既存住宅の耐震診断・耐震補強の促進											
4105 市営住宅の建替・改善事業の推進											
42 市内外の交通インフラ整備により、人・モノ・情報の流れが活発なまちづくり		4201 市内幹線道路・生活道路の整備	11.4	19	68.5	12	10.3	21	70.9	9	
		4202 道路環境の維持・向上									
		4203 交通政策の計画的な推進									
		4204 安定的で持続可能な交通サービスの提供									
		4205 伊賀線の活性化及び再生									
		4206 JR関西本線の近代化整備									
		4207 JR草津線及び近鉄大阪線の利便性向上、リニア中央新幹線建設促進									
5 教育・人権		51 あらゆる差別を許さず、互いの人権を尊重するまちづくり	5101 人権意識の高揚	26.1	8	69.4	11	26.3	7	68.8	13
	5102 人権擁護と救済										
	5103 非核平和の推進										
	5104 同和行政の推進										
	5105 人権教育リーダーの育成										
	52 女性がより一層活躍できる男女共同参画のまちづくり	5201 あらゆる分野における男女共同参画	16.4	16	61.6	16	16.9	15	62.5	15	
		5202 男女の人権尊重									
		5203 ワーク・ライフ・バランスの推進									

分野	政策	施策	26年7月				27年4月			
			満足度		必要度		満足度		必要度	
			そう思う、ややそう思う比率(%)	順位(位)	重要、やや重要と思う比率(%)	順位(位)	そう思う、ややそう思う比率(%)	順位(位)	重要、やや重要と思う比率(%)	順位(位)
5 教育・人権	53 将来を支える子どもたちが充実した教育を受けられるまちづくり	5301 個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を推進する体制づくり	24.5	9	84.1	3	22.5	11	85.8	1
		5302 望ましい学校教育環境を提供する体制づくり								
		5303 適正な学校規模を推進する体制づくり								
	54 生涯にわたって学びの機会が持てるまちづくり	5401 生涯学習活動の推進	18.0	14	68.1	13	17.1	14	69.0	12
		5402 だれもが利用しやすい図書館の充実								
5403 子どもの読書活動を推進するための体制づくり										
5404 青少年健全育成を推進するための体制づくり										
5405 公民館活動の活性化と育成										
6 文化・地域づくり	61 文化の違いを尊重し、多文化が共生するまちづくり	6101 多文化共生施策の充実と推進体制の整備	22.2	11	52.0	27	23.6	10	52.6	26
	62 文化活動やスポーツ活動が活発なまちづくり	6201 豊かな感性を育む文化・芸術意識の高揚	32.9	3	58.8	22	32.7	4	59.4	19
		6202 市民の身近で充実した文化施設								
		6203 芭蕉翁を核とした地域づくりの継承								
		6204 歴史や文化を守り、未来へと引き継ぐ								
		6205 だれもが気軽に楽しめるスポーツの振興								
	63 地域活動や地域産業などの担い手が育ち、活躍するまちづくり	6301 市民活動支援機能等の充実	11.1	20	70.5	10	10.7	20	71.4	8
		6302 地域の人材育成の促進								
	64 地域活動や市民活動が活発なまちづくり	6401 協働意識の醸成	21.8	12	62.3	14	20.1	13	63.1	14
		6402 協働によるまちづくりの推進								
		6403 住民自治協議会の支援体制づくり								
6404 自治センター化の体制づくり										
計画の推進	711 地域内分権の推進	7111 多様な主体で担う公共のしくみづくり	15.9	17	56.7	25	14.7	17	57.3	24
		7112 地域内分権を支える支所機能の充実								
	712 情報共有と市民参加	7121 情報化と広報機能の充実	11.6	18	62.0	15	9.9	22	62.3	16
		7122 市民参加の促進と広聴機能の充実								
	721 財政の的確な運営	7211 持続可能な財政運営の推進	10.2	22	58.8	21	10.8	19	59.5	18
		7212 自主財源の確保と負担の適正化								
7213 市民の財産として継承する持続可能な公共施設マネジメント										

分野	政策	施策	26年7月				27年4月			
			満足度		必要度		満足度		必要度	
			そう思う、ややそう思う比率(%)	順位(位)	重要、やや重要と思う比率(%)	順位(位)	そう思う、ややそう思う比率(%)	順位(位)	重要、やや重要と思う比率(%)	順位(位)
計画の推進	722 市民の期待に応えられる人・組織づくり	7221 住民サービスに資する職員育成のための人事制度構築と運用								
		7222 行政組織のスリム化	31.0	4	75.0	7	33.3	3	74.1	7
		7223 行政サービス機能の充実								
	723 行政の自立的な運営	7231 自立的な市行政の運営								
		7232 市庁舎の整備								
		7233 情報化による効率的な行政運営の実現	11.0	21	58.0	24	11.1	18	57.3	23
		7234 広域的な連携による行政の運営								
	724 進行管理のしくみ	7241 総合計画に基づく市政の進行管理								
		7242 各種計画の整理統合	9.9	24	61.5	17	8.8	24	58.8	20

再生計画の進捗状況

第2次伊賀市総合計画は、めざす市のすがた(将来像)やまちづくりの基本理念、それらを実現するために必要なまちづくりの政策を示す基本構想と、基本構想に掲げる将来像を達成するため、まちづくりの政策に基づく根幹的な施策や事業を示す再生計画で構成されています。

再生計画に位置づける施策については、法律などに基づいて決められたとおりに実行するものは除き、推進・進行管理すべきものとしています。

進捗度	目標達成状況により算出
A 進んだ	100%
B ある程度進んだ	85%以上100%未満
C あまり進まなかった	70%以上85%未満
D 進まなかった	70%未満

※左の基準による区分がふさわしくない項目については、総合的に判断しています。

目標達成状況は、

- ①増加を目指す指標の場合・・・ $\frac{\text{平成26年度実績値}}{\text{平成26年度目標値}}$
- ②減少を目指す指標の場合・・・ $\frac{\text{平成26年度目標値}}{\text{平成26年度実績値}}$
- ③累積値を目標値に設定する場合・・・ $\frac{\text{平成26年度実績値} - \text{平成25年度現状値}}{\text{平成26年度目標値} - \text{平成25年度現状値}}$

で算出しています。

分野	施策	成果指標	25年度実績値	26年度目標値	26年度実績値	28年度目標値	目標達成状況	進捗度
1 健康・福祉	1101 市民主体の健康づくり活動を支援する体制づくり	医師会、民間団体と連携し、取り組んだ健康づくり事業等の回数(回)	7	8	8	12	100.0%	A
	1102 市民一人ひとりが健康で健やかに暮らせる環境づくり	市民の健康感(%)	71.5	48.0	68.7	73.0	143.1%	A
	1103 疾病の早期発見・早期治療につなげる体制づくり	要精密検査で早期に胃がんが発見された人の割合(%)	0	5.0	2.0	6.0	40.0%	D
	1104 歯の健康づくりを推進するための体制づくり	う歯のない児の割合(12歳児)(%)	48.4	49.0	49.0	50.0	100.0%	A
	1105 感染症に関する情報提供と体制づくり	インフルエンザと診断された人数(人)	1,483	1,450	1,444	1,400	100.4%	A
	1106 地域医療の充実	夜間・休日における二次救急実施病院受入率(%)	96.0	96.0	94.0	98.0	97.9%	B
	1107 福祉医療費助成制度の充実	登録者数(人)	493	440	534	520	121.4%	A
	1201 官民協働による、新たな福祉の総合相談支援を行う体制づくり	地域ケア会議等開催回数(回)	35	33	31	36	93.9%	B
	1202 児童虐待、障がい者虐待及びDV被害等による関係機関との支援体制づくり	児童虐待の進行管理の終結人数(人)	36	34	64	35	188.2%	A
	1203 乳幼児期から学齢期、青年期まで途切れのない支援を行う体制づくり	保護者からの(との)相談件数(件)	245	300	300	400	100.0%	A
	1204 医療・介護サービスが一体的に提供できる体制づくり	介護サービス利用率(%)	17.4	17.5	17.6	18.0	100.6%	A

分野	施策	成果指標	25年度実績値	26年度目標値	26年度実績値	28年度目標値	目標達成状況	進展度
1 健康・福祉	1205 だれもが自分らしく暮らせるまちづくり	グループホーム及びケアホームの定員数(人)	61	66	76	76	115.2%	A
	1206 地域における、見守り、支えあう体制づくり	地域で安心して暮らせると感じる満足度(%)	36.0	38.0	36.6	41.7	96.3%	B
	1301 地域における子育て支援事業の充実	子どもを産み育てやすい環境や支援が整っていると思う満足度(%)	31.7	30.0	30.0	41.5	100.0%	A
	1302 ひとり親家庭の自立支援の推進	ひとり親家庭からの相談解決率(%)	87.8	88.0	79.0	90.0	89.8%	B
	1303 乳幼児期から生育・食育を含めた知識の普及と途切れない子育て支援の体制づくり	子育てにいらいらを感じている人の割合(%)	25.4	24.0	25.9	20.0	92.7%	B
2 生活・環境	2101 さまざまな災害を想定した体制づくり	あんしん・防災ネット登録者数(人)	3,200	3,800	3,920	5,000	120.0%	A
	2102 災害時に援護や配慮が必要な人々を支援する体制づくり	避難行動要支援者名簿情報提供同意率(%)	60.8	61.0	60.4	65.0	99.0%	B
	2103 災害時における情報収集、伝達機能を確保する施設整備の推進	孤立地区への通信手段整備率(%)	0	50.0	41.7	100.0	83.4%	C
	2104 消防体制の強化推進	消防水利の充足率(%)	68.6	69.0	69.0	70.0	100.0%	A
	2105 救急・救助体制の強化	救急救命士数(人)	31	38	36	42	71.4%	C
	2106 非常備消防体制の充実強化	消防団員の確保(人)	1,473	1,480	1,476	1,510	42.9%	D
	2107 交通事故ゼロをめざした取り組みの推進	交通安全教室参加者数(人)	28	45	19	45	42.2%	D
	2108 消費者被害防止のための啓発等の充実	消費生活相談件数(件)	324	200	337	270	168.5%	A
	2109 河川環境の保全・整備	浚渫実施箇所数(箇所)	5	9	9	20	100.0%	A
	2201 環境保全意識の高揚・啓発	庁内Co2排出量の数値(kg)	100	100	87	100	87.0%	B
	2202 地球温暖化防止に向けた取り組みの推進	地球温暖化防止に向けた事業・普及啓発セミナーの参加者数(人)	46	64	50	100	78.1%	C
	2203 不法投棄をさせない、されな体制づくり	不法投棄防止対策処理件数(件)	1	1	1	5	100.0%	A
	2301 効率的な収集ができる体制づくり	可燃ごみ適合率(%)	86.2	87.0	86.8	90.0	99.8%	B
	2302 ごみ減量及び資源のリサイクルを推進する体制づくり	ごみの資源化率(%)	57.0	59.0	58.1	63.0	98.5%	B
2303 ごみ処理施設のあり方を検討する体制づくり	一般廃棄物処理施設整備計画進捗率(%)	0	0	0	100.0	—	—	
2304 水道水源の安定確保	伊賀市水道事業基本計画の策定率(%)	20.0	50.0	30.0	100.0	33.3%	D	

分野	施策	成果指標	25年度実績値	26年度目標値	26年度実績値	28年度目標値	目標達成状況	進展度
2 生活・環境	2305 水道施設の充実と健全運営	水道広域化促進事業(%)	43.0	56.0	52.0	83.0	69.2%	D
	2306 生活排水処理施設整備の推進と適正な維持管理	生活排水処理施設整備率(%)	72.0	73.0	73.2	76.0	120.0%	A
	2307 下水道事業の健全経営	事業進捗率(%)	0	35.0	36.0	100.0	102.9%	A
	2308 排水路の改修、整備	事業進捗率(%)	29.0	84.0	82.0	86.0	96.4%	B
	2309 し尿処理施設の整備	事業進捗率(%)	0	0	0	1.30	—	—
3 産業・交流	3101 観光・物産情報の発信と、市民ぐるみの誘客とPR	伊賀市観光ホームページへのアクセス数(件)	18,000	20,000	40,150	30,000	200.8%	A
	3102 市内全域の魅力アップと「おもてなし」のしくみづくり	着地型観光の事業主体数(主体)	0	70	108	100	154.3%	A
	3201 持続可能な農業の推進	人・農地プラン作成集落カバー率(プラン作成集落/集落数)	20/195	50/195	29/195	120/195	30.0%	D
	3202 森林の整備と住民の取り組み	認定林業体等森林経営計画作成面積(ha)	424.03	490	862	490	663.9%	A
	3301 中心市街地の魅力を発掘し、市内外へ発信する体制づくり	歩行者・自転車通行量(人)	3,964	4,080	4,096	4,300	100.4%	A
	3302 商業・文化の交流拠点となる中心市街地の再生	小売年間販売額(百万円)	2,420	2,430	2,513	2,460	103.4%	A
	3303 個店の機能強化と商店街機能の充実	商店街等の空き店舗の減少率(%)	100.0	97.0	97.0	90.0	100.0%	A
	3401 地域産業の高付加価値化	製造業に係る粗付加価値額(万円)	2,561	2,599	—	2,675	—	—
	3501 働く人の意欲に応える多様な就業・雇用の促進	伊賀公共職業安定所管内の就職率(%)	92.9	100.0	99.9	100.0	99.9%	B
	3502 若年無業者の職業的自立への支援	就労支援により若年者が就業に結びついた割合(%)	43.9	44.0	44.2	45.0	100.5%	A
	3503 若者の地元雇用に向けた就業支援	合同就職セミナー参加者の地元就職率(%)	100.0	120.0	86.0	160.0	71.7%	C
	3601 コミュニティビジネスなどの起業の普及啓発と支援	コミュニティビジネスやソーシャルビジネスなどの起業数(件)	8	12	9	16	25.0%	D
	3602 コミュニティビジネスの中間支援	団体等がコミュニティビジネスを始めた件数(件)	3	3	3	5	100.0%	A
3603 市民公益活動団体等の基盤強化支援	認定NPO法人件数(件)	0	1	0	5	0.0%	D	

分野	施策	成果指標	25年度実績値	26年度目標値	26年度実績値	28年度目標値	目標達成状況	進展度
4 生活 基盤	4101 効率的で持続可能な都市構成をめざした制度づくり	都市計画区域の再編と区域区分制度設計進捗率(%)	0	80.0	80.0	100.0	100.0%	A
	4102 快適で潤いある都市空間の形成と安全・安心の公園整備	都市公園安全安心対策緊急総合支援事業進捗率(%)	55.0	60.0	60.0	80.0	100.0%	A
	4103 伊賀市らしい魅力ある景観を守り、活かす体制づくり	届出対象行為の適合率(%)	88.0	100.0	100.0	100.0	100.0%	A
	4104 既存住宅の耐震診断・耐震補強の促進	住宅の耐震化率(%)	69.10	83.0	81.0	90.0	85.6%	B
	4105 市営住宅の建替・改善事業の推進	事業進捗率(%)	0	0	0	10.15	—	—
	4201 市内幹線道路・生活道路の整備	市道改良率(%)	26.55	26.60	26.60	26.71	100.0%	A
	4202 道路環境の維持・向上	橋梁修繕対策実施率(橋長15m以上の橋梁)(%)	0.4	0.7	0.0	6.0	0.0%	D
	4203 交通政策の計画的な推進	交通計画施策の着手率(%)	96.2	98.0	96.2	98.0	0.0%	D
	4204 安定的で持続可能な交通サービスの提供	上野コミュニティバス年間輸送人員(人)	26,214	26,000	26,300	26,000	98.9%	B
	4205 伊賀線の活性化及び再生	伊賀線年間輸送人員(万人)	160	156	152	148	97.4%	B
	4206 JR関西本線の近代化整備	JR関西本線年間輸送人員(柘植駅～島ヶ原駅:万人)	63	63	—	65	—	—
4207 JR草津線及び近鉄大阪線の利便性向上、リニア中央新幹線建設促進	市外への公共交通網が充実していると思う割合(%)	14.6	16.4	15.5	20.0	94.5%	B	
5 教育 ・ 人権	5101 人権意識の高揚	人権問題地区別懇談会の参加者数(人)	5,050	5,000	4,876	5,100	97.5%	B
	5102 人権擁護と救済	人権相談の相談者数(人)	13	13	13	30	100.0%	A
	5103 非核平和の推進	戦争についての関心や理解度(%)	89.3	90.0	97.9	90.0	108.8%	A
	5104 同和行政の推進	人権同和問題に関する学習の機会や相談の機会が保たれていると感じる人の割合(%)	31.3	50.0	31.8	70.0	63.6%	D
	5105 人権教育リーダーの育成	人権大学講座延べ受講者数(人)	628	650	696	1,300	309.1%	A
	5201 あらゆる分野における男女共同参画	審議会等への女性委員の登用率(%)	30.5	38.0	31.1	40.0	81.8%	C
	5202 男女の人権尊重	男女共同参画に関する講座等の参加者数(人)	1,020	1,100	1,100	1,100	100.0%	A
	5203 ワーク・ライフ・バランスの推進	子育てや介護が男女を問わずできるような雰囲気や環境があると思う市民意識の割合(%)	17.6	20.0	16.3	30.0	81.5%	C
5301 個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を推進する体制づくり	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合(%)	小学校 90.3 中学校 72.2	小学校 95 中学校 80	小学校 87.9 中学校 73.2	小学校 100 中学校 100	92.5%	B	

分野	施策	成果指標	25年度実績値	26年度目標値	26年度実績値	28年度目標値	目標達成状況	進展度
5 ・ 教育 ・ 人権	5302 望ましい学校教育環境を提供する体制づくり	校舎及び屋内運動場の耐震化率(%)	88.4	93.4	94.1	100.0	114.0%	A
	5303 適正な学校規模を推進する体制づくり	複式学級編成校数(校)	7	7	7	3	100.0%	A
	5401 生涯学習活動の推進	生涯学習セミナー内容についての満足度(%)	49.0	53.0	56.0	58.0	105.7%	A
	5402 だれもが利用しやすい図書館の充実	図書貸出冊数(冊)	274,738	285,000	315,897	300,000	110.8%	A
	5403 子どもの読書活動を推進するための体制づくり	児童書の貸出回数(冊)	101,858	105,000	118,605	110,000	113.0%	A
	5404 青少年健全育成を推進するための体制づくり	伊賀市青少年育成市民連絡会議推進大会参加者数(人)	206	150	157	300	104.7%	A
	5405 公民館活動の活性化と育成	地区公民館施設利用回数(回)	3,259	4,500	5,135	5,000	114.1%	A
6 ・ 文化 ・ 地域づくり	6101 多文化共生施策の充実と推進体制の整備	外国人住民が住んでよかったと感じる割合(%)	—	50.0	42.0	50.0	84.0%	C
	6201 豊かな感性を育む文化・芸術意識の高揚	市民美術展覧会応募者数(人)	136	160	135	160	84.4%	C
	6202 市民の身近で充実した文化施設	文化施設の来館者数(人)	10,279	18,000	11,511	18,000	64.0%	D
	6203 芭蕉翁を核とした地域づくりの継承	芭蕉祭献詠俳句応募数(句)	34,355	40,000	40,499	40,000	101.2%	A
	6204 歴史や文化を守り、未来へと引き継ぐ	文化財施設への入館者数(人)	24,369	24,100	23,609	24,600	98.0%	B
	6205 だれもが気軽に楽しめるスポーツの振興	参加者数(人)	4,234	4,300	4,024	5,000	93.6%	B
	6301 市民活動支援機能等の充実	市民活動支援センターへの登録件数(件)	144	150	189	160	126.0%	A
	6302 地域の人材育成の促進	インターンシップの受け入れ企業・事業所数(事業所)	251	260	256	300	98.5%	B
	6401 協働意識の醸成	ボランティアや市民活動等に参加している市民の割合(%)	27.4	28.0	30.1	30.0	107.5%	A
	6402 協働によるまちづくりの推進	地域活動支援事業の協働事業ができた件数(件)	1	3	4	5	133.3%	A
6403 住民自治協議会の支援体制づくり	地域まちづくり計画の達成度(%)	—	10.0	5.3	30.0	53.0%	D	
6404 自治センター化の体制づくり	地区市民センターを指定管理した件数(件)	—	0	0	38	—	—	

行政評価とは

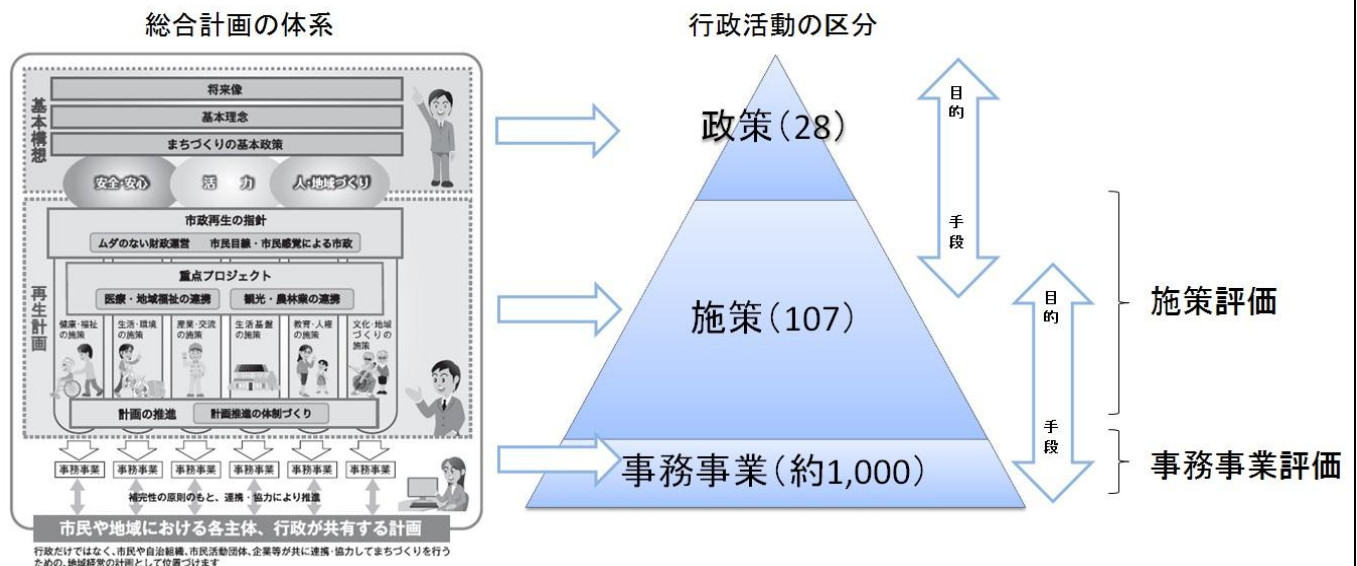
行政の様々な活動を、「市民にとっての効果は何か」「当初期待した目的どおりに成果が上がっているか」といった視点で評価・検証することで、より効率的で効果的な行政運営を迫する手法です。また、民間企業で培われた管理手法であるマネジメント（PDCA）サイクルを行政運営に取り入れようとするものです。PDCAとは、Plan（計画を立てる）、Do（実行する）、Check（実行した結果、目標に到達したか検証する）、Action（検証の結果を次の計画の改善につなげる）のことで、

【図1 PDCAサイクル】



伊賀市の行政評価は、再生計画に定める107の施策の達成状況の評価したうえで、政策の目標達成に向けた事務事業の改廃や予算編成につなげる「施策評価」を中心に実施しています。

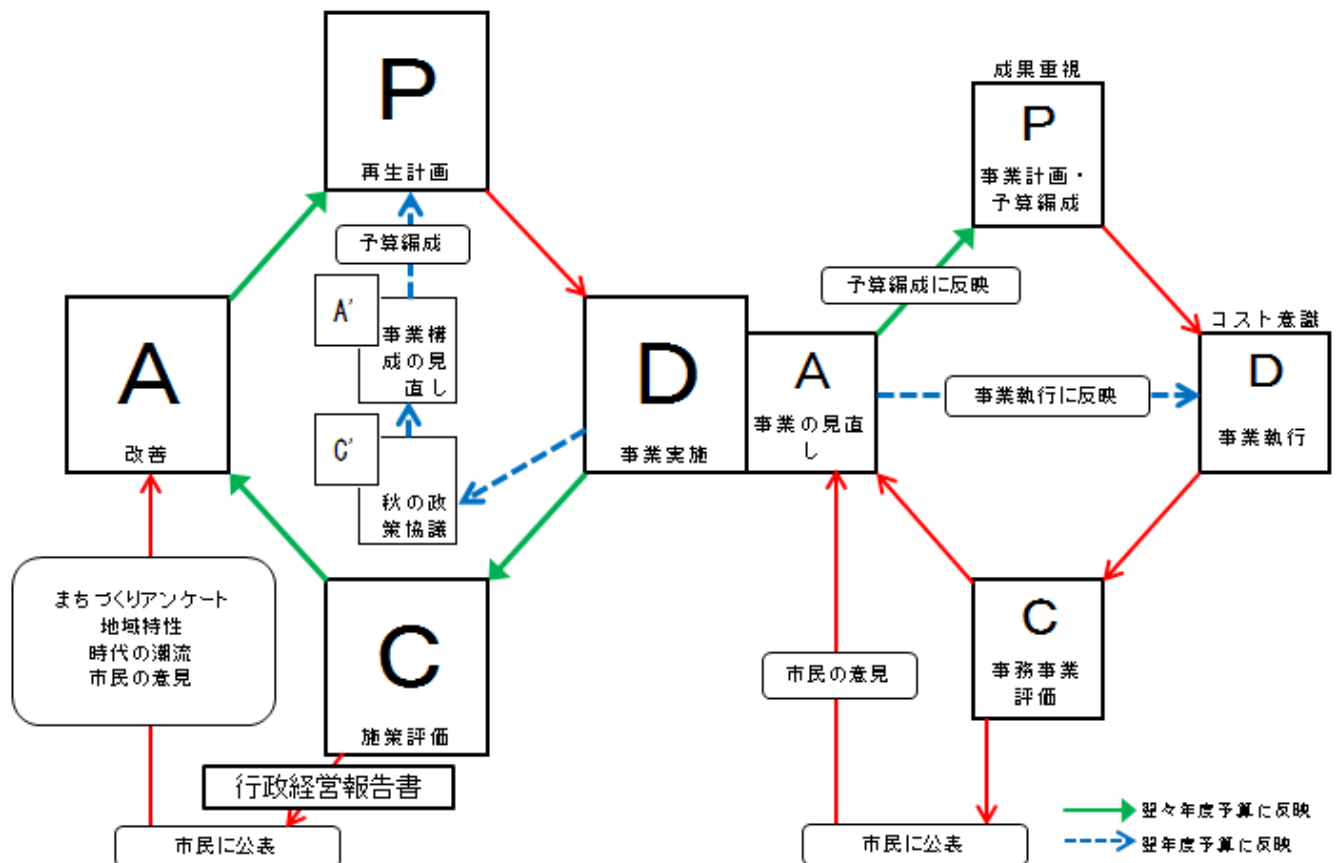
【図2 行政評価の分類】



「施策評価」については、部長などが施策評価シートを用いて、平成 25 年度の事業及び平成 26 年度の半期の成果や、時代の潮流や課題などから、昨秋に中間評価を実施し、その評価結果をもとに翌年度（平成 27 年度）の市政運営の方向性について政策協議を行いました。昨年度末には、翌年度事業実施を睨み、平成 26 年度の課題及び平成 27 年度の改善内容などについて再度、施策評価シートに追記しています。

また、行政評価の最小単位である「事務事業」の評価も行っており、年度末に所属長などが事業実施を振り返り、実施状況や課題、改善提案について記載します。改善提案については、すぐに取りかけられることは翌年度事業執行から、廃止改善することで影響があるものはフォロー一策などを翌々年度予算に反映させていきます。「事務事業評価」の詳しい内容は、毎年 9 月頃に公表を予定しています。

【図3 行政評価におけるPDCAサイクルの考え方】



重点プロジェクト

「重点プロジェクト」の政策展開においては、次のように進めていきます。

医療・地域福祉連携プロジェクト

伊賀市立上野総合市民病院については、4月から5階病棟を集学治療センターとして再開し、がん総合診療を中心に入院患者の診療を、一般病棟に一時転用していた西館3階病棟を療養病棟として再開し、継続的な医療が必要な入院患者の診療を行います。

また、診療体制については、4月1日から消化器・肝臓内科の正規常勤医師2人、同月14日から一般内科の嘱託常勤医師1人が新たに就任しました。看護師では、4月1日に正規職員13人を新規採用しました。今後も入院診療に当たれる医師を中心に、医師、看護師確保に全力を挙げて取り組んでいきます。

新公立病院改革プランについては、県の地域医療構想の策定状況を踏まえつつ、公・民の適切な役割分担の下、地域における公立病院に必要な医療体制の確保などを検討したいと考えています。

地域包括ケアシステムは、全国的に介護や高齢者福祉計画で構築をめざすところがほとんどですが、伊賀市では他に先駆けて、医療や介護が必要な高齢者として限定せず、地域福祉計画においてすべての市民を対象としているのが特徴です。「第3次地域福祉計画」の策定にあたっては、市民と共につくる計画とするため、計画の骨子段階から市民参画で作り上げるべく、作業を進めていきます。

観光・農林業連携プロジェクト

観光振興は、市外からの交流人口を増やし、地域内消費を拡大し、また、市外に向けて伊賀市の特産品を売り出すため重要なものです。今年も「伊賀上野NINJAフェスタ」を4月から5月の連休にかけ、地域の皆さんやボランティアの皆さんの協力をいただきながら開催しました。

農業振興の面では、首都圏で伊賀の食材の販路開拓と伊賀のファンを増やすことで、生産意欲の向上や観光振興に資することを目的として、平成27年度も

食材フェアの開催とアンテナショップを開設します。フェアの開催をきっかけにして伊賀の食材を使っていただけの店舗も徐々に増えてきており、3年目を迎え、世界遺産にも認定された「和食」等を取り入れるなどの強化を考えています。

また、農業資源を活用して農商工連携による付加価値の高い商品開発に係る事業として、東京都内及び伊賀市内の化粧品関連企業に協力いただき、あけぼの学園高校とのコラボレーションで、伊賀産菜種油を原材料とした菜の花シャンプーやトリートメントの商品開発に支援を行います。

「人・農地プラン」については、人と農地の問題解決に向けた施策を推進するため、各集落でプランが作成されるよう努めます。また、平成27年度から本格実施される農地集積の受け皿となる農地中間管理機構の活用により、青年就農者の確保や担い手への農地集積・集約化を、各機関・団体等と連携し、推進します。

森林・林業については、森林の多面的機能の増進を図る環境林整備事業を推進するとともに、「みんなの里山整備活動推進事業」の実施地域の拡大を図ります。また、間伐の推進を図るため、木質バイオマス利用推進をはじめとした未利用間伐材の利用推進にも取り組みます。

「分野別計画」及び「計画の推進」については、施策毎に施策評価シートにより平成26年度の取り組みと残された課題、それに対する平成27年度の改善ポイントと具体的な取り組みをお示ししています。また、超高齢化社会と人口減少社会への対応として平成26年度補正予算で先行的に創設された事業（地方創生先行型と記載し、平成27年度で執り行う事業）について、多くの人に伊賀市に住んでもらえるような取り組みを進めていきます。

分野別計画・計画の推進一覧

分野	政策	施策	頁	
1 健康・福祉	11 健康寿命が長く、安心な医療が受けられるまちづくり	1101 市民主体の健康づくり活動を支援する体制づくり	23	
		1102 市民一人ひとりが健康で健やかに暮らせる環境づくり	25	
		1103 疾病の早期発見・早期治療につなげる体制づくり	27	
		1104 歯の健康づくりを推進するための体制づくり	29	
		1105 感染症に関する情報提供と体制づくり	31	
		1106 地域医療の充実	33	
		1107 福祉医療費助成制度の充実	35	
	12 子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	1201 官民協働による、新たな福祉の総合相談支援を行う体制づくり	37	
		1202 児童虐待、障がい者虐待及びDV被害等による関係機関との支援体制づくり	39	
		1203 乳幼児期から学齢期、青年期まで途切れのない支援を行う体制づくり	41	
		1204 医療・介護サービスが一体的に提供できる体制づくり	43	
		1205 だれもが自分らしく暮らせるまちづくり	45	
		1206 地域における、見守り、支えあう体制づくり	47	
	13 子どもを安心して産み、育てられるまちづくり	1301 地域における子育て支援事業の充実	49	
		1302 ひとり親家庭の自立支援の推進	51	
		1303 乳幼児期から生育・食育を含めた知識の普及と途切れのない子育て支援の体制づくり	53	
	2 生活・環境	21 自然災害や重大な事故などさまざまな事象に備え、安心して暮らせるまちづくり	2101 さまざまな災害を想定した体制づくり	55
			2102 災害時に援護や配慮が必要な人々を支援する体制づくり	57
			2103 災害時における情報収集、伝達機能を確保する施設整備の推進	59
			2104 消防体制の強化推進	61
			2105 救急・救助体制の強化	63
2106 非常備消防体制の充実強化			65	
2107 交通事故ゼロをめざした取り組みの推進			67	
2108 消費者被害防止のための啓発等の充実			69	
2109 河川環境の保全・整備			71	
22 自然を守り、自然と調和したまちづくり		2201 環境保全意識の高揚・啓発	73	
		2202 地球温暖化防止に向けた取り組みの推進	75	
		2203 不法投棄をさせない、されない体制づくり	77	
23 環境に配慮した生活環境が整うまちづくり		2301 効率的な収集ができる体制づくり	79	
		2302 ごみ減量及び資源のリサイクルを推進する体制づくり	81	
		2303 ごみ処理施設のあり方を検討する体制づくり	83	
		2304 水道水源の安定確保	85	
		2305 水道施設の充実と健全運営	87	
		2306 生活排水処理施設整備の推進と適正な維持管理	89	
		2307 下水道事業の健全経営	91	
		2308 排水路の改修、整備	93	
		2309 し尿処理施設の整備	95	

分野	政策	施策	頁	
3 産業・交流	31 地域資源とおもてなしの心を活かした観光のまちづくり	3101 観光・物産情報の発信と、市民ぐるみの誘客とPR	97	
		3102 市内全域の魅力アップと「おもてなし」のしくみづくり	99	
	32 人と人がつながる元気な農林業のまちづくり	3201 持続可能な農業の推進	101	
		3202 森林の整備と住民の取り組み	103	
	33 中心市街地と各地域が連携した賑わいあるまちづくり	3301 中心市街地の魅力を発掘し、市内外へ発信する体制づくり	105	
		3302 商業・文化の交流拠点となる中心市街地の再生	107	
		3303 個店の機能強化と商店街機能の充実	109	
	34 地域性を活かしたモノづくりと新たなサービス創出が活発なまちづくり	3401 地域産業の高付加価値化	111	
	35 だれもが働きやすく、働く意欲が持てるまちづくり	3501 働く人の意欲に応える多様な就業・雇用の促進	113	
		3502 若年無業者の職業的自立への支援	115	
		3503 若者の地元雇用に向けた就業支援	117	
	36 多様な主体が地域課題を解決するため起業できるまちづくり	3601 コミュニティビジネスなどの起業の普及啓発と支援	119	
		3602 コミュニティビジネスの中間支援	121	
		3603 市民公益活動団体等の基盤強化支援	123	
	4 生活基盤	41 歴史文化や風土と調和した、秩序のあるまちづくり	4101 効率的で持続可能な都市構成をめざした制度づくり	125
			4102 快適で潤いある都市空間の形成と安全・安心の公園整備	127
			4103 伊賀市らしい魅力ある景観を守り、活かす体制づくり	129
			4104 既存住宅の耐震診断・耐震補強の促進	131
4105 市営住宅の建替・改善事業の推進			133	
42 市内外の交通インフラ整備により、人・モノ・情報の流れが活発なまちづくり		4201 市内幹線道路・生活道路の整備	135	
		4202 道路環境の維持・向上	137	
		4203 交通政策の計画的な推進	139	
		4204 安定的で持続可能な交通サービスの提供	141	
		4205 伊賀線の活性化及び再生	143	
		4206 JR関西本線の近代化整備	145	
		4207 JR草津線及び近鉄大阪線の利便性向上、リニア中央新幹線建設促進	147	
5 教育・人権		51 あらゆる差別を許さず、互いの人権を尊重するまちづくり	5101 人権意識の高揚	149
			5102 人権擁護と救済	151
	5103 非核平和の推進		153	
	5104 同和行政の推進		155	
	5105 人権教育リーダーの育成		157	
	52 女性がより一層活躍できる男女共同参画のまちづくり	5201 あらゆる分野における男女共同参画	159	
		5202 男女の人権尊重	161	
		5203 ワーク・ライフ・バランスの推進	163	
	53 将来を支える子どもたちが充実した教育を受けられるまちづくり	5301 個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を推進する体制づくり	165	
		5302 望ましい学校教育環境を提供する体制づくり	167	
5303 適正な学校規模を推進する体制づくり		169		

分野	政策	施策	頁
5 教育・ 人権	54 生涯にわたって学びの機会が持てるまちづくり	5401 生涯学習活動の推進	171
		5402 だれもが利用しやすい図書館の充実	173
		5403 子どもの読書活動を推進するための体制づくり	175
		5404 青少年健全育成を推進するための体制づくり	177
		5405 公民館活動の活性化と育成	179
6 文化・ 地域づくり	61 文化の違いを尊重し、多文化が共生するまちづくり	6101 多文化共生施策の充実と推進体制の整備	181
	62 文化活動やスポーツ活動が活発なまちづくり	6201 豊かな感性を育む文化・芸術意識の高揚	183
		6202 市民の身近で充実した文化施設	185
		6203 芭蕉翁を核とした地域づくりの継承	187
		6204 歴史や文化を守り、未来へと引き継ぐ	189
		6205 だれもが気軽に楽しめるスポーツの振興	191
	63 地域活動や地域産業などの担い手が育ち、活躍するまちづくり	6301 市民活動支援機能等の充実	193
		6302 地域の人材育成の促進	195
	64 地域活動や市民活動が活発なまちづくり	6401 協働意識の醸成	197
		6402 協働によるまちづくりの推進	199
		6403 住民自治協議会の支援体制づくり	201
		6404 自治センター化の体制づくり	203
	計画の 推進	711 地域内分権の推進	7111 多様な主体で担う公共のしくみづくり
7112 地域内分権を支える支所機能の充実			207
712 情報共有と市民参加		7121 情報化と広報機能の充実	209
		7122 市民参加の促進と広聴機能の充実	211
721 財政の的確な運営		7211 持続可能な財政運営の推進	213
		7212 自主財源の確保と負担の適正化	215
		7213 市民の財産として継承する持続可能な公共施設マネジメント	217
722 市民の期待に応えられる人・組織づくり		7221 住民サービスに資する職員育成のための人事制度構築と運用	219
		7222 行政組織のスリム化	221
		7223 行政サービス機能の充実	223
723 行政の自立的な運営		7231 自立的な市行政の運営	225
		7232 市庁舎の整備	227
		7233 情報化による効率的な行政運営の実現	229
		7234 広域的な連携による行政の運営	231
724 進行管理のしくみ	7241 総合計画に基づく市政の進行管理	233	
	7242 各種計画の整理統合	235	

平成27年度施策評価シートの見方

基本情報	コード	名称	担当部署	コード	名称	連絡先
	政策名等	00	みんなでめざすまちづくりの方向や目的を記載	000000	〇〇部〇〇課	0595-00-0000
	施策	0000	政策を実現するために、みんなで取り組む方策	評価責任者・役職名	〇〇部 部長 〇〇 〇〇	
	再生の視点 (何を、どうする)	再生計画に掲げる「再生の視点」を記載しています				
施策の方向	再生計画に掲げる「施策の方向」を記載しています					

指標	成果指標名	指標の説明	現状値 (平成25年度)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	再生計画に掲げる「成果指標名(施策の目標項目名)」を記載しています	再生計画に掲げる、目標の意味、内容、用語の説明などを記載しています	再生計画に掲げる25年度の実績	目標 26年度の目標値 実績 26年度の実績値	27年度の目標値 空欄(27年度の実績値)	再生計画に掲げる28年度の目標値 空欄(28年度の実績値)

改善・取組方向	平成26年度		平成27年度	
	前年度の取組内容と残された課題	平成25年度の取組結果について、市民にとっての成果を検証する観点から、平成28年度末までの目的実現に向けての取組みの成果と残った課題や、環境変化に伴い発生している課題を明らかにしています。	平成26年度	平成27年度
改善ポイントと具体的な取組	検証結果を踏まえ、平成26年度予算で見直しを検討した事項(改善のポイント)や継続的・重点的に取組む方向を明らかにしています。	検証結果を踏まえ、平成27年度予算で見直しを検討した事項(改善のポイント)や継続的・重点的に取組む方向を明らかにしています。	検証結果を踏まえ、平成27年度予算で見直しを検討した事項(改善のポイント)や継続的・重点的に取組む方向を明らかにしています。	検証結果を踏まえ、平成27年度予算で見直しを検討した事項(改善のポイント)や継続的・重点的に取組む方向を明らかにしています。

平成27年度施策評価シート

基本情報	コード	名称	担当部署	コード	名称	連絡先
	政策名等	11 健康寿命が長く、安心な医療が受けられるまちづくり		130900	健康福祉部健康推進課	0595-22-9653
	施策	1101 市民主体の健康づくり活動を支援する体制づくり	評価責任者・役職名	健康福祉部 部長 増田 基生		
	再生の視点(何を、どうする)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 限られた地域の保健・医療資源を有効に活用できるよう、市民が主体となり健康づくりに関する取り組みを進めます。 ・ 若年者や働く世代に対する健康意識の向上や、QOL(生活の質の向上Quality of Life)に関連する情報を積極的に発信する企業・団体が地域と連携し、市全体で健康づくりに取り組むためのしくみをつくります。 				
施策の方向	医師会、歯科医師会、民間団体、企業等に積極的な参加・協力を要請し、市民や地域が主体的に行う健康づくりの取り組みを総合的に支援する体制を構築します。					

指標	成果指標名	指標の説明	現状値 (平成25年度)	平成26年度	平成27年度	平成28年度								
		医師会、民間団体と連携し、取り組んだ健康づくり事業等の回数	地域と医師会、民間団体と連携した市民健康づくり事業の実施回数	7	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #e0e0e0;">目標</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: center;">12</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0e0e0;">実績</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	目標	8	10	12	実績	8			
目標	8	10	12											
実績	8													

改善・取組方向	平成26年度	平成27年度
	前年度の取組内容と残された課題	(平成25年度の取組内容と残された課題) 伊賀市健康21計画に基づき、住民自治協議会や健康の駅長、または、医師会等の保健・医療資源を活用し、市民が主体となる健康づくりを支援します。今後は行政、地域、関係団体が協働して行うことや、自主的に行うことを明確にする必要があります。
改善ポイントと具体的な取組	医師会、歯科医師会、民間団体、企業等に積極的な参加・協力を要請し、市民や地域が主体的に行う健康づくりの取組を総合的に支援する体制を構築します。	健康の駅長連絡会へ委託している事業について、住民自治協議会の一括交付金として算入し、住民自治協議会の活動として再編できないかを検討します。